

西ノ浜地区

<現況特性>

三河湾国定公園の第2種特別地域に指定されている。伊勢湾への眺望と、緑量のある保安林、連なる砂浜は国の自然景観資源として選定されている。しかし、近年、マツ枯れや砂浜の侵食による景観の悪化及び機能の低下が発生している。また、保安林内へ帰化植物が侵入し、在来植物が減少し、生物の多様性が失われつつある。

また、保安林内に古代の製塩跡地や藤原古墳群などの史跡がある。



西ノ浜沿い道路の街路樹



風車群



西ノ浜海浜の森



休暇村伊良湖のマツ林



中部電力渥美火力発電所内の緑地



愛知県栽培漁業センター

<課題>

●保安林の保全再生

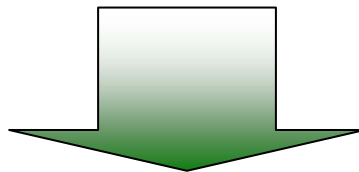


過去の西ノ浜林内の様子「西ノ浜の大松」
(出典：渥美半島植物記 恒川敏雄著)



現在の西ノ浜林内の様子

- 砂浜の保全
- 在来植物保護のための海浜植物の保全
- 歴史遺産の活用
- 風車群の眺望の活用



<テーマ>

地区の特徴的な自然環境であり、景観でもある砂浜やマツ林を活用し、点在する貴重な海浜植物や歴史遺産、風車群、伊勢湾の眺望など、地域の自然や文化、人の営みを体感するネットワークを形成する。

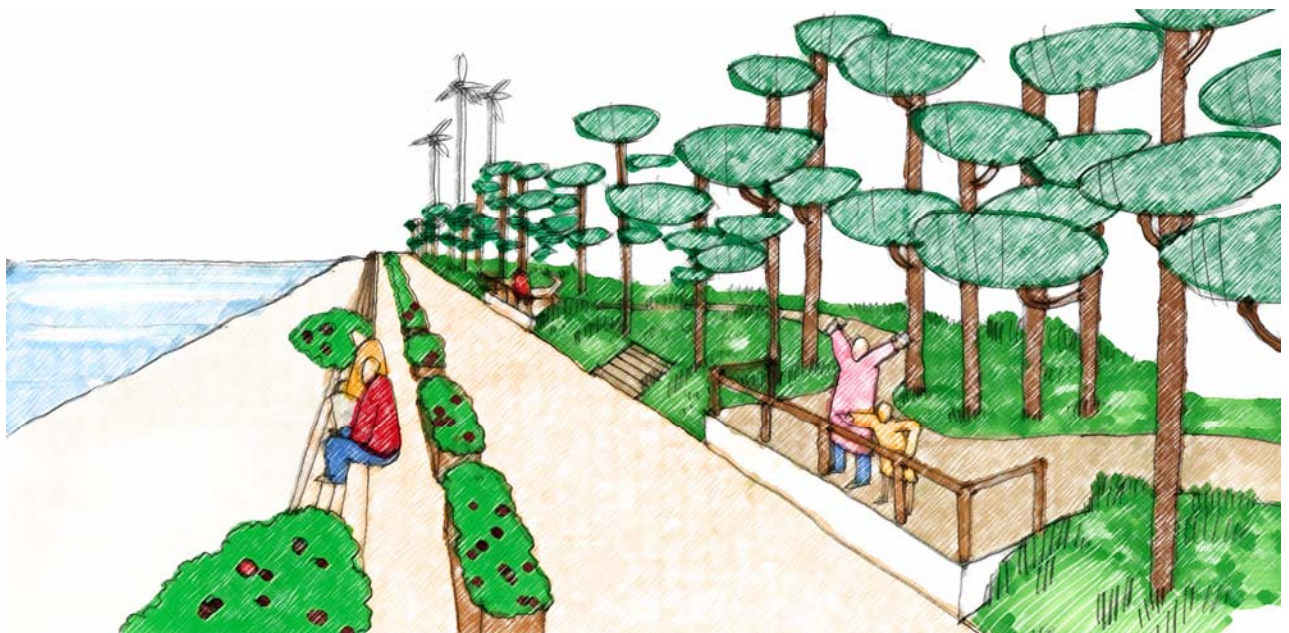


図 5-4-7 : 西ノ浜地区将来像

